

女子大学生の意識調査

ライフサイクル、就業展望・ファッション感覚

昭和 57 年 1 月

ポーラ文化研究所

1. 調査の趣旨

ポーラ文化研究所は、これまでに、『女性の化粧意識・行動と生活意識・行動に関する調査……化粧文化白書』や『団塊の世代の女性』などの調査で、学歴によって女性の意識や行動が異なることを明らかにしてきた。高学歴化によって経験する大学生活が、女性のその後の人生に大きな影響を与えるのは何であろうか。

また、当研究所の研究結果では、女性は年令的にみて、20才前後で、化粧やファッションに関するアイデンティティを形成するのではないかという推論を出している。20才前後の女性が集まる大学キャンパスは、いまや、ファッションの場となっていることを考え合せると、ここで醸成されるファッション感覚は、その後の消費生活に大きな影響を与えるであろうことは、想像に難くない。

さらに、彼女たち高学歴女性たちは、大学を卒業した後も、女性の中でオピニオンリーダーとなる可能性が大きく、人数的にはいまだにマイナーであっても、その影響力は大きいのではないかと考えられる。

これらの諸点を明らかにするため、各種の大学や生活形態の異なるグループ毎に、彼女達のライフサイクルの展望、就業意識、ファッション感覚について調査を行った。

2. 調査概要

調査地域	……………	東京及びその郊外	
調査対象	……………	大学(短大・4年制)に在籍している女性	1,000名
			有効回答数 975 (97.5%)
調査時期	……………	昭和56年11月	
調査方法	……………	アンケート方式	

3. お問い合わせ先

- ポーラ文化研究所 (渡辺)

《結果の概要》

1. ライフサイクル展望は意外に保守的
2. オバン年齢は30.8才
3. 尊敬されている母親
4. 結婚相手の条件は4つ
5. 継続就業希望は半分以下
6. 憧れの職種と現実の職種のギャップは大きい。
7. 就業志向グループとファッション志向グループの二つの流れ
8. 校風を風化させたファッション誌・情報誌の普及
9. クリスタル風はきれい？（隠れクリスタル）
10. 映画は洋風，書籍は和風

1. ライフサイクル展望は意外に保守的

女子大学生のライフサイクルの展望として、結婚適令期、自分の希望（予想）結婚年齢、限界結婚年齢、第一子出産年齢、末子出産年齢、子離れ年齢について質問をした。

その結果（表-1）、彼女たちの多くは、25才までに結婚し、1年半後に第1子出産（26.4才）、30才までには末子を生子終りたい（結果的に、子供は2人）と思い、30才過ぎたら結婚をあきらめてもよいと思っている。子離れは、末子が小学校に入学する前後と考えている。また、後掲の通り、出産後も継続して働きたいと思う人は50%に満たず、子離れ後も自分の時間を趣味に使いたいと思う人が50%以上となっている。

この展望は、現在の一般女性のライフサイクルと何ら変わるところのないものであり、現代の女子大学生は驚くほど現状肯定の保守派といわざるを得ない。

表-1 a ライフサイクル展望

	結 婚			出 産		
	適 令 期	希望年齢	限界年齢	第 一 子	末 子	子離れ年齢
全体の平均	24.8才	24.8才	30.2才	26.4才	29.7才	34.2才*

* アンケートの年齢枠が35才までで、それ以上を36才として平均したため、いく分年齢が低く出ている。

表-1b

	年 齢 別					私 立 係 数 **				
	18	19	20	21	22	0	3	5	6	7
適 令 期	24.9	24.6	24.8	25.1	24.9	25.5	24.9	24.6	24.3	24.8
第1子出産	26.2	26.1	26.2	27.0	27.2	26.9	26.5	26.2	26.2	26.1
末子出産	29.3	29.5	29.5	30.5	30.2	30.4	29.8	29.6	29.5	29.0

** 私立係数 小学校から現在の大学まで、私立の学校に行った影響が、どのように現われるかを見るために設けた測度。
 私立大学；3，私立高校；2，私立中学および小学校；1，
 公立校は全て0として、その合計を私立係数とした。
 係数が高いほど、私立の学校に在学した年数が長い。

表-1bを見ると、自分の年齢が上るほど、適令期、出産年齢が上っている。ただし、入学したばかりの18才の学生は、結婚がまだ遠い存在なのか、適令期などは、むしろ高い傾向を示している。

また、私立の学校に長く行っている人の方が適令期や出産年齢が低い傾向を示している。

2. オバン年令は30.8才

「女性をオバンと感じる年令」「男性をオジンと感じる年令」は、全体平均で、オバン年令30.8才、オジン年令34.2才*という結果が出た。

*但し、アンケートの年令枠を35才までしか作らず、それ以上は36才として平均値を算出した。そのため、オジン年令は実際より、やや低めに出了と考えられる。特に男性の場合、上限値の35才に近いところに平均値があるので、実際のオジン年令は36才以上ではないかと考えられる。女性の場合は30～31才に平均値があるので、オバン年令はこのあたりと考えて良いであろう。

それにしても、女性は30才を過ぎると「オバン」で、男性の「オジン」が36才以上とすると、約5才のひらきがある。彼女達が性の差別について、どのような意見を持っているかはわからないが、やはり女性の方が男性よりも早く、オバン視されるであろうと感覚的にとらえているということであろう。

表-2 オバン年令, オジン年令

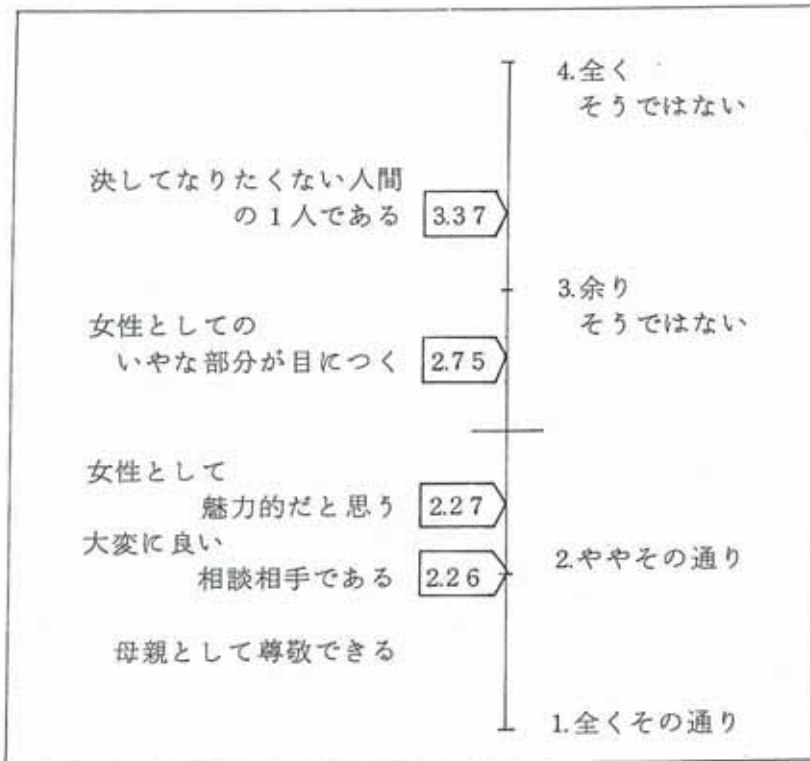
	年 齢 別					私 立 係 数				
	18	19	20	21	22	0	3	5	6	7
オバンと感じる年令	30.4	30.7	30.4	31.2	32.1	32.0	30.7	31.2	30.3	30.0
オジンと感じる年令*	34.0	34.3	34.1	34.2	34.6	34.5	34.2	34.5	34.0	33.5

3. 尊敬されている母親

自分の人生の先行指標として、母親をどのように見ているか聞いてみた。特に女性は結婚後も同性の母親に親密であることから、母親の影響は大きいと思われる。

結果は、図-1の通り、母親への尊敬の念は強い。

図-1 お母さんをどのように感じていますか。



また、表-3のように、自宅通学の学生は、下宿などの学生より母親が身近にいるだけ母親への批判度が強い。

表-3 母親像

	女性として魅力的だと思う	女性としていやな部分が目につく	母親として尊敬できる	大変に良い相談相手である	決してなりたくない人間の1人である
自宅	2.3	2.7	1.9	2.3	3.3
下宿	2.2	2.8	1.8	2.2	3.5

(評点) 1. 全くその通り 2. ややその通り 3. 余りそうではない
4. 全くそうではない

4. 結婚相手の条件は4つ

結婚相手の条件として、表-4の9つの条件から2つ選ばせたところ、主な条件は4つあり、第1が経済力(31.3%)で、次にやさしさ(20.2%)、男らしさ(19.7%)が並び、4番目が知性(14.7%)である。また、私立係数が高い人ほど経済力を重視していることがわかる。

表-4 結婚相手の条件

	経済力	やさしさ	男らしさ	知性	職業	家庭環境	容姿	親との同居	学歴
全体平均	31.3%	20.2	19.7	14.7	4.7	4.0	1.9	1.6	1.2

私立係数	0	3	5	6	7
経済力を条件とする人	21%	31	33	35	39

5. 継続就業希望は半分以下

本調査対象者の母親の有職率は39%であるが、本人の就業に対する展望は考えていたより低く、継続就業希望は44.2%と半分以下であった。

子離れ後も、半分強は趣味の時間をもちたいと考え、働きに出ることを想定している人は40%足らずである。

一方、子供も生まないで、ずっと働きたいと思っている人が6.1%もあり、若さゆえの展望とはいえ、これからはますます出産率が低くなるのではないかと考えられる。また、このような人が、少数とはいえ、収入も多く、社会的地位も高く、他の多くの女性のオピニオンリーダーとなる可能性が強いとすれば、決して無視することはできないであろう。

表-5 就業への展望

業後の 就業展望	就業しない	結婚まで	出産まで	継続して
全体平均	4.3%	26.7	23.3	44.2

子離れ後の 時間使用	趣味	パート	フルタイム	ボランティア	子なしで ずっと働く
全体平均	50.4%	7.2	30.6	3.7	6.1

6. 憧れの職業と現実の職種の間ギャップは大きい

憧れている職種と、現実に働くと思っている職種との間にギャップがあると思う女子学生は8割弱(79%)いる。

また、私立係数が高いほど、ギャップがあると思っている人が多い。

表-6 a 憧れている職種と現実に働くと思われる職種のギャップ

女子校係数	0	3	5	6	7	全体
ギャップあり	61%	79	78	84	89	79

具体的な職種について表-6 bの通りである。この結果から職業観について、次の3つのグループに分けることができる。

① 憧れているが、現実には働けない職種

作家、漫画家(憧れ10.8%/現実1.2%)、新聞マスコミ関係(20.9/3.5)、プログラマー等(7.4/0.8)、インストラクター(6.8/0.7)、秘書(5.5/1.2)、デザイナー、イラストレーター(15.4/5.2)。

ただし、()内の数字は憧れてる人の%と現実に働くと思う人の%を表す。

② 憧れてはいないが、実際には働くと思われる職種

一般事務(1.3/46.6)、デパート、スーパーの販売員(0/2.2)。

③ 憧れていてしかも実際に働くと思っている職種

教師、保育(15.0/16.4)、ピアノ・絵等の先生(3.2/3.7)

表-6 b 憧れている職種(上段)、現実に働くと思っている職種(下段)

		事 務	秘 書	タイ ピスト	デザ イナ ー	セ ール ス	看 護 婦	和 ・ 洋 裁	お 茶 ・ お 花	店 員	ウ ェ ィ ト レ ス	作 家	教 師 ・ 保 母	プ ロ グ ラ マ ー	ピ ア ノ の 先 生	自 営 業	内 職	ツ ン ダ ク タ ー	マ ス コ ミ
全体平均	あこがれ	1.3	5.5	1.0	15.4	0.1	1.44	0.3	1.3	0	0.3	10.8	15.0	7.4	3.2	3.7	0.4	6.8	20.9
	現 実	46.6	1.2	1.0	5.2	0.2	0.4	0.6	0.8	2.2	0.9	1.2	16.0	0.8	3.7	2.0	1.6	0.7	3.5

7. 就業志向グループとファッション志向グループの二つの流れ

女子大学生の属性別に、ライフサイクル意識と就業意向を見ると、一定の傾向を見出すことができる。

つまり、表-7に示すように、Aグループの属性をもつ学生たちとBグループの属性をもつ学生たちとは、そのライフサイクル意識と職業意識が対称的になっているということである。こうして見てみると、Aグループは「就業志向グループ」と名付け、Bグループは「ファッション志向グループ」と名付けることができよう。

表-7 女子大学生の二つのグループとその傾向

		Aグループ	Bグループ
属 性	年齢	高い	低い
	私立係数	低い	高い
	女子校係数	低い	高い
	制服係数	低い	高い
	公立大学	公立	私立
	4年制大学	あり	短期大学
	浪人生活	している	していない
	サークル活動	している	していない
	通学	下宿, 寮	自宅
	兄弟	男兄弟なし	男兄弟あり
ひとりっ子	(ライフサイクル意識では)	(職業職の希望では)	
母親	有職	無職	
		⇓	⇓
ライフサイクル意識と職業意向	結婚, 適齢期, 希望年齢, 限界年齢	高い	低い
	第一子, 末子の出産年齢	高い	低い
	オープン年齢, オジン年齢	高い	低い
	母親への尊敬, 相談意向	高い	低い
	母親への批判	低い	高い
	結婚後の就業意向	高い	低い
	結婚相手の経済力の評価	低い	高い
	子離れ後の就業意向	高い	低い
	憧れ職と現実職のギャップ	小さい	大きい
	憧れの職種	マスコミ } 指向 教師 }	デザイナー指向
現実の職種	教師指向	一般事務 } 指向 デザイナー }	
		⇓	⇓
		就業志向グループ	ファッション指向グループ

8. 校風を風化させたファッション誌・情報誌の普及

今や、大学のキャンパスは、学問の場というよりは、ファッション表現の場、それを競う場となっており、それを促しているのは、ファッション誌・情報誌である。驚いたことに、読まれている雑誌は、どの大学でもほとんど変わらず、「ノンノ」と「JJ」が上位を占めている。

このような雑誌の普及は、どの大学にもブレッビー派もいれば、ウェストコースト派もいるというように、かつてあった個々の学校の“校風”というものを風化させてしまったことを物語っている。

表-8 学校多く読まれている雑誌順位

大学別 順位	私立共学			私立女子校			短期大学				国公立		合計 975	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
1位	びあ	ノンノ	ノンノ	ノンノ	JJ	JJ	ノンノ	JJ	ノンノ	JJ	ノンノ	ノンノ	ノンノ	177
2位	マ-ガ レット	びあ	JJ	びあ	ノンノ	ノンノ	JJ	ノンノ	アン アン	ノンノ	JJ	JJ	JJ	137
3位	アン アン	マ-ガ レット	びあ マ-ガ レット	JJ アン アン	びあ	びあ	びあ	びあ	JJ びあ	びあ るるぶ	週刊 朝日	びあ 他	びあ	97

9. クリスタル風はきれい？（隠れクリスタル）

女子学生に「クリスタル」という言葉は好きですかと聞いたところ、「はい」が8.8%、「いいえ」が88.7%と、9割近くが嫌いだと答えている。

現代の学生の風潮を象徴して書かれた「なんとなくクリスタル」についてのフリーアンサーをまとめてみると、おおむね否定的であるが、この本を読まなかった人の方が、否定率が高い。（表-9a）

彼女達は、自分で読んで判断したのではなく、他人の批評を自分の意見にしているのではないだろうか。

表-9a 「なんとなくクリスタル」についてのフリーアンサー

意見を書いた人				読まないので 意見を書かない人
読んだ		読まない		
否定	肯定	否定	肯定	
24%	6%	32%	2%	36%

表-9b ブランド購入ベスト10

順位	名称	人数
○ バッグ中心		
1	ディオール	19
2	セリーヌ	18
3	ルイヴィトン	17
4	クレージュ	16
5	グッチ	13
6	サンローラン	12
7	レノマ	9
7	フェンディ	9
7	バレンチノ	9
10	シャネル	6
○ ポロシャツ,スポーツウェア中心		
1	ラテ	31
2	ラルフローレン	9
2	エレッセ	9
4	フィラ	6

一方、最近購入したブランド商品はクリスタル風の高級ブランドものが多く、心情的には「クリスタル」を否定しても、否定しきれない何かがあるのではないか。（表-9b）具体的な意見の中にも「自分の学校にも「クリスタル風」のがある」「彼女達は華やかだ」とあり、同性として無視できない存在のようである。

10. 映画は洋風，書籍は和風

最近見た印象に残った映画，最近読んだ印象に残った本のベストテンをあげると，表-10の通りである。

この結果を見ると，ベスト10のなかで，映画は洋画9に邦画1であり，書籍は翻訳物が1で，邦人作家のものが9である。

表-10 a 映画ベスト10

順位	題 名	人 数
1	エレファントマン	171
2	ブリキの太鼓	21
3	9時から5時まで	17
4	クレイマー・クレイマー	16
5	ブルースブラザーズ	15
6	魔 界 転 生	14
7	チ ャ ン ス	13
8	イエスタディ	12
9	ロ ー ズ	11
9	テ ス	11

表-10 b 読書ベスト10

順位	書 名	人 数
1	窓ぎわのトットちゃん	54
2	なんとなくクリスタル	20
3	コインロッカーベイビーズ	10
3	氷 点	10
5	蒼 い 時	9
6	ライ麦畑でつかまえて	6
6	塩 狩 峠	6
6	う さ ぎ の 眼	6
6	青 春 の 門	6
10	二十才の原点	5